



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月30日

上場会社名 株式会社ファンデリー 上場取引所 東  
 コード番号 3137 URL <http://www.fundely.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)阿部 公祐  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)梶原 哲也 (TEL)03(5249)5080  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,306	—	177	—	173	—	116	—
27年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	18.79	18.36
27年3月期第2四半期	—	—

(注) 1. 当社は平成27年3月期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第2四半期の数値及び、平成28年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、平成27年6月25日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場しているため、平成28年3月期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から当第2四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,583	1,263	79.8
27年3月期	1,335	936	70.1

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 1,263百万円 27年3月期 936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,939	10.1	468	6.7	451	3.2	271	4.6	43.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	6,325,500株	27年3月期	6,025,500株
28年3月期2Q	—株	27年3月期	—株
28年3月期2Q	6,187,795株	27年3月期2Q	—株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、日銀の金融緩和策や政府の経済政策などによって景況感が回復し、企業収益や雇用情勢も着実に改善するなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方、円安による輸入原材料等の価格上昇に加え、中国経済の不透明感の強まりやギリシャの債務問題等による海外景気に対する不安感から、引き続き景気の先行きは楽観視できない状況であります。

このような状況下、当社におきましてはMFD事業において、定期購入サービスである「栄養士おまかせ定期便」の利用者拡大及び健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の紹介ネットワーク拡大を軸に推し進めることで、新規顧客数の拡大に努めました。このため、当第2四半期累計期間の販売は堅調に推移しました。

マーケティング事業においては、健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の2誌に掲載する広告枠の販売が順調に推移しました。また、健康食通販カタログ『ミールタイム』の紹介ネットワークを活用した業務受託については、新規クライアントの開拓や既存クライアントからの複数案件の獲得に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,306,774千円、営業利益は177,876千円、経常利益は173,676千円、四半期純利益は116,267千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① MFD事業

当セグメントにおきましては、季節ごとに実施している商品の入れ替えに伴う新商品の開発、また、当社の管理栄養士・栄養士が顧客の疾病、制限数値、嗜好に合わせて食事を選び定期購入できるサービス「栄養士おまかせ定期便」への積極的な移行を中心として販売に注力した結果、MFD事業における売上高は1,221,904千円、セグメント利益(営業利益)は248,689千円となりました。

#### ② マーケティング事業

当セグメントにおきましては、健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の2誌による広告枠の販売が順調に推移しました。また、紹介ネットワークを活用した業務受託において複数の案件を獲得したものの、一部案件において実施延期等が発生した結果、売上高は84,869千円、セグメント利益(営業利益)は56,238千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 総資産

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末より247,923千円増加し、1,583,672千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加249,865千円及び商品の増加88,008千円があった一方、売掛金の減少111,808千円によるものであります。

#### ② 負債

当第2四半期会計期間末における負債は前事業年度末より79,483千円減少し、319,982千円となりました。これは主に、未払法人税等の減少53,526千円、流動負債の「その他」の減少33,126千円によるものであります。

#### ③ 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より327,407千円増加し、1,263,689千円となりました。これは主に、資本金及び資本剰余金の増加がそれぞれ105,570千円、利益剰余金の増加116,267千円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、現時点においては平成27年6月25日付「平成27年3月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	887,606	1,137,472
売掛金	219,124	107,316
商品	120,171	208,179
仕掛品	-	974
貯蔵品	1,008	819
その他	47,095	64,480
貸倒引当金	△181	△96
流動資産合計	1,274,826	1,519,146
固定資産		
有形固定資産	11,106	12,298
無形固定資産	10,086	8,439
投資その他の資産	39,729	43,788
固定資産合計	60,922	64,525
資産合計	1,335,748	1,583,672
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	89,322	104,578
1年内返済予定の長期借入金	10,000	2,500
未払法人税等	112,581	59,055
賞与引当金	16,673	16,051
その他	162,341	129,215
流動負債合計	390,919	311,401
固定負債		
資産除去債務	7,604	7,639
その他	942	942
固定負債合計	8,547	8,581
負債合計	399,466	319,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	165,450	271,020
資本剰余金	115,450	221,020
利益剰余金	655,382	771,649
株主資本合計	936,282	1,263,689
純資産合計	936,282	1,263,689
負債純資産合計	1,335,748	1,583,672

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)	
当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	
売上高	1,306,774
売上原価	565,449
売上総利益	741,324
販売費及び一般管理費	
賞与引当金繰入額	16,051
運賃	121,847
その他	425,549
販売費及び一般管理費合計	563,448
営業利益	177,876
営業外収益	
受取補償金	7,442
その他	503
営業外収益合計	7,945
営業外費用	
支払利息	19
株式公開費用	12,125
営業外費用合計	12,145
経常利益	173,676
特別損失	
固定資産除却損	1,885
特別損失合計	1,885
税引前四半期純利益	171,790
法人税等	55,523
四半期純利益	116,267

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	171,790
減価償却費	3,776
固定資産除却損	1,885
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△84
賞与引当金の増減額(△は減少)	△622
受取利息及び受取配当金	△100
支払利息	19
売上債権の増減額(△は増加)	111,808
たな卸資産の増減額(△は増加)	△88,793
仕入債務の増減額(△は減少)	15,256
未払消費税等の増減額(△は減少)	△40,750
その他	△16,919
小計	157,266
利息及び配当金の受取額	100
利息の支払額	△19
法人税等の支払額	△106,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,523
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△3,106
無形固定資産の取得による支出	△1,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,298
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△7,500
株式の発行による収入	211,140
財務活動によるキャッシュ・フロー	203,640
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	249,865
現金及び現金同等物の期首残高	887,606
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,137,472

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年5月22日及び平成27年6月9日開催の取締役会決議に基づき、第1四半期会計期間において有償一般募集増資による新株式の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ105,570千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が271,020千円、資本剰余金が221,020千円となっております。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	MFD	マーケ ティング	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,221,904	84,869	1,306,774	1,306,774	—	1,306,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,221,904	84,869	1,306,774	1,306,774	—	1,306,774
セグメント利益	248,689	56,238	304,928	304,928	△127,052	177,876

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用△127,052千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。